

# NEW SOPHIA

福岡歯科学園広報誌

福岡歯科大学は「口腔医学の確立」を推進しています。

Oct. 2009 Vol.17 No.4 [第64号]

ニューソフィア



第1000回記念教授会出席者の皆さん

第1000回記念教授会開催／本館耐震補強工事	2
「戦略的大学連携支援事業」／「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」	3
ホームページをリニューアル／西日本生理学会／日本発汗学会／公開講座	4
第41回全日本歯科学学生総合体育大会成績	5
「大学ネットワークふくおか」へ参加／上海交通大学口腔医学院と同意書の締結	6
FROM PARENTS 保護者からのメッセージ	7
FROM THE ALUMNI ASSOCIATION 同窓会だより 福岡歯科大学同窓会創立30周年記念行事	8・9
HI FROM CLINICS クリニックからこんにちは	10
奨学制度(大学・大学院・短大)	11
平成22年度入試日程／オープンキャンパス	12

福岡歯科学園ホームページも  
ご覧ください。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

## 第1000回記念教授会を開催



挨拶する北村学長

昭和48年4月18日に第1回教授会が開催されて以来、本年8月5日の教授会で第1000回目を迎えることとなり記念教授会を開催しました。

記念教授会は、8月5日15時から本館8階

第3会議室において北村憲司学長の進行で、田中健藏理事長が「口腔医学の学問体系に向けた今後の方針について」、秋山治夫福岡県歯科医師会会長が「歯科医療の将来像」と題して講演が行われました。この他、宮口巖同窓会会長、中四良父兄後援会会長を始め、名誉教授、学園役員の先生方にもご出席いただきました。

教授会終了後には、記念撮影や施設見学が行われ、福岡市内のホテルにおいて懇

親会が開催されるなど、盛大のうちに終了しました。



田中理事長の講演



秋山県歯会長の講演

## 進む本館耐震補強工事、研究棟の工事は9月から

本年3月に開始された本館耐震補強工事は順調に進んでいます。1階空調機械室、学生食堂等の工事を始め、建物外部への鉄骨ブレース設置は11月中旬に完了し、内部補強工事は11月にはほぼ終了の見込みです。現在、建物の外壁塗装が開始されており、来年1月末には外部足場やシートが撤去され、リニューアルした本館が姿を現すことになります。

医科歯科総合病院のうち、研究棟（総合歯科等の臨床系研究室等が配置されている部分）の耐震補強工事も9

月から始まり、来年3月の完成を目指し工事が行われています。

また8月に終わった本館、研究棟のエレベ

ーター耐震改修に引き続き、同建物内のトイレ改修も行われています。



本館1階に設置された鉄骨ブレース



工事が完了した空調機械室



本館1階ロビーの耐震ブレース

## 文部科学省 平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」 学生支援推進プログラムに採択

文部科学省の平成21年度「学生支援推進プログラム」に、本学の取組「臨地体験と就業情報通信システム構築による歯学生の就業支援強化」が採択されました。この事業は、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。

本学の取組では、学生が早い時期から都市部や遠隔地での多様な歯科臨床現場を体験し、歯科医師としての将来像を描かせるなどの就業意識を高め、さらに生涯を通じて意欲的に研鑽を積む姿勢や職業倫理意識の向上を図ります。これらの体験を報告会で共有し、体験報告の記録に加えて都心部での特徴ある診療や離島僻地診療、口腔ケアの実績等遠隔地での就業情報を、ポートフォリオ等の在学生の情報と併せて就業情報通信システムを構築します。ICTの活用により就業先のニー

ズと個々の学生が描く将来像や能力との適合性の向上を図り、生涯研修の第一歩として最適な臨床研修施設の選定を学生が主体的に行える能力を身につけさせるとともに、就業への支援を強化するものです。

取組への補助期間は平成23年度までの予定です。皆様におかれましては来春から始まる学生の臨地体験にご協力ご支援賜りますようお願いいたします。

### 末永氏から寄附金

8月7日、福岡歯科大学第1学年で平成21年度AO入試学術奨励金受給者のご父兄・末永弘子氏（福岡市）から教育及び研究活性化のための寄附申込みがあり、100万円が本学に寄贈されました。

### 福岡歯科大学同窓会が 創立30周年を記念して絵画を寄贈

7月24日に、福岡歯科大学同窓会創立30周年を記念して、同窓会から福岡歯科大学が描かれた絵画（タイトル：「福岡歯科大学」、作者：小川幸男画伯）が寄贈されました。



## 文部科学省戦略的大学連携支援事業 『口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考』

### FDワークショップ及びSD研修を開催

7月11日、福岡県歯科医師会館において、平成21年度FDワークショップが開催されました。

当日は連携8大学から25名の参加があり、文献抄読会、口腔医学アンケートの結果報告、口腔医学模擬講義参観、特別講演が行われ、最後に「国民に期待される20年後の歯科医師像」についての全体討議がありました。

また、7月23日には福岡歯科大学において平成21年度SD研修が開催されました。



7/11FDワークショップの様相

### 連携大学学長・学部長及び事業実施担当者による 第3回合同会議を開催

9月5日、岩手医科大学内丸キャンパス創立60周年記念館10階会議室において、「第3回学長・学部長会議及び実施担当者会議 合同会議」が開催されました。

当日は、①口腔医学カリキュラム作成の取組、②平成21年度海外視察、③TV授業システム等について報告及び協議が行われました。



第3回合同会議参加者の皆さん

## 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 「疾患の抑制におけるゲノム安定性と環境ストレスの制御」



文部科学省の戦略的研究基盤形成支援事業が平成20年度から始まり、本学が申請した研究プロジェクト「疾患の抑制におけるゲノム安定性と環境ストレスの制御」が採択されました。実施期間は平成20年度から24年度までの5年間で、その間各年度4,000万円の研究費が配当される予定です。また初年度に研究設備として共焦点レーザー顕微鏡(3,967万円)とフローサイトメリーシステム(1,785万円)の購入が認められました。

福岡歯科大学では平成10年度から19年度にわたって、私立大学学術研究高度化推進事業(学術フロンティア推進事業)の支援をうけて「疾患における遺伝的、環境的要因の相互作用とその制御」の研究を実施してきました。ここではがんと歯周病という歯科・口腔領域における二大疾患の病因と治療法の開発をめざして、疾患の発症と増進における宿主側要因(内的要因)と環境要因(外的要因)の相互作用について研究しました。この研究において発がんの抑制に関わる新規の遺伝子を発見するとともに抗がん剤によって細胞死を導く新しい機構を示すことができました。また破骨細胞の骨吸収過程に関わる経路を転写因子の作用の解明を通じて明らかにしました。本研究はそれらの成果の上になって、がんや歯周病を含む各種疾患、さらに老化の抑制に関わるゲノム安定化システムを明らかにしようとする

ものです。その過程には様々な環境ストレスが関わるので、その作用因子や修飾因子を明らかにして疾患の制御に結びつけたいと考えています。

本研究を実施するため、先端科学研究センターが平成20年12月に発足しました。このセンターは学術フロンティア研究センターをひき継いで本学の研究活動を支える中心となるもので、前述の設備も同センター内に設置しました。センター長は関口陸夫客員教授で、センター所属の教員として高木康光准教授と瀬戸山大樹助教が着任し、共同研究の実施とセンターの運営にあっています。なお平成20、21年度の研究費は本研究の実施に必要な共通経費などにあてるとともに、計画研究を行う研究者14名と学内公募によって採択された研究者18名に配分して研究を実施しています。

## 社会人歯科衛生士の学び直し講座に150人が応募

口腔機能の向上支援が、高齢者の介護予防として介護保険に導入され、歯科衛生士の新たな業務として注目されています。福岡医療短期大学が文部科学省の委託を受け、開講中の社会人の学び直し講座『介護予防新時代における歯科衛生士の口腔機能向上スキルアップ講座』は、20年末に受講定員40名で募集したところ、予想をはるかに上回る150名の応募があり、21年度は48名の受講者のほか、聴講生約70名を受け入れました。これは、超高齢社会における口腔機能の向上支援への

関心の高さと、歯科衛生士養成2年制課程では履修できなかった“口腔介護”に対する学習意欲の表れと思われる。

21年度期は5月～9月に全9回の講義・演習(46.5時間)を完了し、現在は学園内のサンシャインシティならびにサンシャインプラザでの口腔介護実習(31時間)を実施しています。全プログラムを修了した受講生には修了証が交付され、福岡県歯科衛生士会や同歯科医師会等との連携により修了者の派遣や紹介を通じて、口腔機能向上による介護予防の普及

を目指しています。

来年度は22年5月に開講予定で、本年11月より受講生(定員40名)を募集します。お問い合わせは福岡医療短期大学スキルアップ事務局(TEL 092-801-0439)まで。



唾液腺マッサージの実習

## ホームページをリニューアル

7月17日、福岡歯科大学および福岡医療短期大学ホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、より見やすいホームページにするため、デザイン変更やより迅速な情報提供が行える機能の追加等を行いました。今後も受験生や在学生、地域の皆様によりよい情報を提供できるようなホームページの整備を実施していく予定です。

**福岡歯科大学 トップページ**

<http://www.fdcnet.ac.jp/col/index.html>

受験生向けページ  
【受験生の皆様へ Toward Future】:  
<http://www.fdcnet.ac.jp/col/future/index.html>

**福岡医療短期大学 トップページ**

<http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/index.html>

歯科衛生学科受験生向けページ  
【受験生の皆様へ Toward Future】:  
<http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/future/index.html>



福岡歯科大学 トップページ

### 第60回西日本生理学会(ご案内)

11月6日、7日の2日間、福岡県歯科医師会館(福岡市中央区)において、本学細胞生理学岡部幸司教授が代表幹事で第60回西日本生理学会が開催されます。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 日程:1日目11:00~12:00評議員会  
13:00~17:00日本生理学会九州奨励賞  
審査対象演題・一般演題  
17:30~18:30総会・奨励賞表彰式  
19:00~21:00懇親会

2日目 9:00~13:00一般演題  
※時間は都合により若干変更することがあります。  
詳しくは下記ホームページをご参照下さい。  
<http://www.fdcnet.ac.jp/col/seiri09/60nishi.htm>

### 平成21年度日本歯科理工学会九州支部 夏期セミナー開催

8月20日、21日の2日間、かんぼの宿柳川(福岡県柳川市)において、本学生体工学松家茂樹教授が世話人となって平成21年度日本歯科理工学会九州支部夏期セミナーが開催されました。今年度のセミナーは約65名が参加し、9題の一般講演および九州大学大学院歯学研究院・石川邦夫教授による特別講演が行われ、歯科材料・生体材料に関する研究成果についての議論が活発に行われました。

### 第17回日本発汗学会総会開催

9月4日、5日の2日間、福岡ガーデンパレス(福岡市中央区)において、本学心療内科科学稲光哲明教授が会頭で第17回日本発汗学会総会が開催されました。  
今回は第15回日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会(会長:佐田厚生会佐田病院院長佐田正之先生)との同時開催で一般演題26題、シンポジウム、特別講演、教育講演が行われました。2日目午後は、岡孝和先生(九州大学大学院心身医学准教授)と佐田正之先生による一般公開講座が開催され60人の参加者との熱い質疑応答がありました。

## 公開講座のお知らせ

#### ● 福岡歯科大学公開講座 ●

「お口からだの健康管理からはじめる長寿—歯周病から脳卒中まで—」

日 時:平成21年10月18日(日) 13:00~16:00  
場 所:福岡県歯科医師会館(福岡市中央区大名)

①「歯がたくさん残った人ほど長寿か?」  
~全国歯科医師の健康調査からわかったこと~  
講師:内藤 徹(福岡歯科大学・高齢者歯科学分野・准教授)

②「口腔内科~お口の病気とからだの病気~」  
講師:池邊 哲郎(同大学・口腔外科学分野・教授)  
③「脳卒中による言語・嚥下の障害」  
講師:大星 博明(同大学・内科学分野・教授)

○定員100名、受講料・参加料は無料

#### ● 第5回健康まるごと福岡歯科学園 ●

日 時:平成21年10月24日(土)、25日(日)  
場 所:福岡歯科大学

福岡歯科学園では、医療・保健・介護のみではなく、より広い分野での地域貢献を果たすため、今年で5回目となる「健康まるごと福岡歯科学園」を開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

○「田の歯科祭」○「からだの科学展」○「介護無料相談・介護施設見学」○短大企画  
○「医科ミニ講座・歯科無料相談」(10/25のみ)

○「講演会」  
日 時:平成21年10月25日(日) 13:00~14:00  
場 所:福岡歯科大学本館5階501講義室  
講演テーマ:新型インフルエンザとその対策  
講 師:柏木 征三郎(医学博士 国立病院機構九州医療センター名誉院長)

○定員100名、受講料・参加料は無料  
○公開講座・講演会への申込方法  
参加希望の講座名、日付、氏名・年齢・性別・住所・電話番号を明記の上、電話、FAX、E-Mailまたはハガキで下記宛にお申込ください。受講票をお送りします。

○問合せ・申込先 福岡歯科大学 企画課 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 電話:092-801-0411/FAX:092-801-3678 E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp

#### ● 地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム ●

日 時:平成21年11月7日(土) 13:00~16:00  
場 所:中村学園大学  
テーマ:がん予防のエッセンス-がんにならないための生活習慣-

第1部:各大学講師による講演  
①「肺癌と予防」  
福岡大学 医学部 呼吸器内科学:渡辺 憲太郎 教授

②「口腔癌は怖くない-予防と早期発見のための自己検診-」  
福岡歯科大学 口腔・顎顔面外科学講座 口腔腫瘍学分野:大関 悟 教授  
③「癌にならないために-食からのアプローチ-」  
中村学園大学 栄養科学部 健康増進センター長:中野 修治 教授  
第2部:公開討論(来場者と講師との質疑応答)

○受講料・参加料は無料  
○申込方法 電話、FAXまたはE-mailにて住所・氏名・電話番号をお知らせください。

○問合せ・申込先 中村学園大学学事課 電話:092-851-2531/FAX:092-841-7762 E-mail:gakuji@nakamura-u.ac.jp

#### ● 第36回福岡歯科大学学会総会 ●

日 時:平成21年12月23日(水・祝) 時間未定 場 所:福岡県歯科医師会館 大ホール(福岡市中央区大名)

○問合せ先 福岡歯科大学学会事務局 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 電話:092-801-0411 E-mail:gakkai@college.fdcnet.ac.jp

# 第 4 1 回 歯 学 体 成 績

第41回全日本歯科学生総合体育大会夏期部門(事務主管 明海大学 歯学部)が、8月1日から8月12日にかけて埼玉県を中心に各地で開催されました。参加校29校中総合優勝は愛知学院大学歯学部で、本学は総合で12位でした。

参加クラブ	順位	
バレーボール	優勝	男子準優勝、女子3位
バスケットボール	準優勝	男子3位、女子4位
ラグビーフットボール	3位	冬期部門
弓道	5位	男子団体4位、女子団体7位
剣道	5位	男子団体8位、女子団体優勝、女子個人3位
ボウリング	5位	個人総合4位、ダブルスAチーム2位
硬式庭球	18位	男子26位、女子8位
ゴルフ	順位確定外	男子団体13位、女子団体14位
空手道	順位確定外	団体戦2回戦敗退、個人戦 新人戦 優勝
水泳	順位確定外	50m背泳ぎ5位 新人戦50m背泳ぎ 優勝 新人戦50m自由形6位
柔道	順位確定外	無段の部3位、予選リーグ敗退
硬式野球	順位確定外	1回戦敗退
サッカー	順位確定外	1回戦敗退
ヨット	順位確定外	
バドミントン	順位確定外	女子団体 決勝トーナメント1回戦敗退
ボクシング	団体戦 優勝	オープン競技
サーフィン	Bクラス予選敗退 Cクラス予選敗退	医科歯科サーフィン大会、個人戦



優勝

バレーボール部



準優勝

バスケットボール部



弓道部



バドミントン部



ボクシング部



剣道部



ボウリング部



水泳部

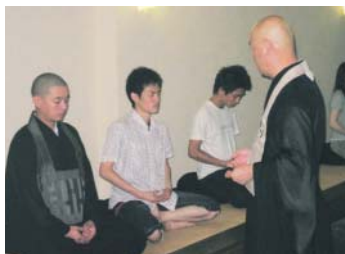
## 田新町夏祭りに、ミュージックアソシエーションがバンド演奏で参加

7月25日、毎年恒例となった田新町夏祭り盆踊り大会に、福岡歯科大学学術文化部ミュージックアソシエーションがバンド演奏で参加し、夏祭りを盛り上げました。



## 6年生が東林寺で座禅

8月8日、東林寺(福岡市博多区)において、福岡歯科大学第6学年を対象として、梅田泰隆住職による講話及び座禅を実施しました。



54名の参加学生等は、2グループに分かれ、各グループ約90分間の研修を受けました。今回の講話及び座禅研修は、参加した学生にとって、国家試験に向けての自己啓発の場となりました。

## 「大学ネットワークふくおか」へ参加



「大学ネットワークふくおか」設立総会出席者ら

6月29日、大学・産業界・行政が連携し、福岡都市圏の大学及び圏域の魅力と活動内容等に関する情報を国内外に発信するとともに、教育研究の発展及び活力ある地域づくりに貢献することを目的とした「大学ネットワークふくおか」（会長 九州大学 有川節夫総長）の設立総会が福岡市内のホテルで開かれました。「大学ネットワークふくおか」

は、本学を一員とする福岡都市圏の21の大学と福岡商工会議所及び福岡市で構成され、産学官による「大学のまち」づくりを進める組織です。今後、福岡での学生生活や各大学の魅力を紹介するパンフレットやホームページの作成、福岡市長と大学生の意見交換会などを予定しています。また、共同サテライトキャンパスの開設も検討しています。

## 上海交通大学口腔医学院と同意書の締結



笑顔で握手する張院長と田中理事長

8月6日から9日にかけて、姉妹校である上海交通大学口腔医学院から張志愿院長及び張健中副院長が本学を訪れました。8月7日に執り行われた調印式では、2004年4月14日付け「姉妹校関係締結についての同意書」に関する覚書を交わし、今後自動的に締結を延長することで合意しました。友好的な雰囲気の中、今後の交流についても引き続き協議が行われました。また、調印式終了後、本学の先端科学研

究センターなど学内施設の見学や張院長及び張副院長による特別講演（大学院特別講義）も開催されました。今後も、活発な交流による、両大学の更なる発展が期待されます。



国際交流委員との記念撮影

## 福岡県六大学病院 野球大会で2連覇達成

7月12日、福津市ウェルサンピア福岡野球場にて『第37回福岡県六大学病院野球大会』が開催され、本学医科歯科総合病院野球同好会が見事連覇を果たしました。これまで連覇を果たした大学は、福岡県南部地区で強豪といわれる久留米大学のみでしたが、本学も強豪チームの仲間入りをしました。試合結果は、VS福岡大学3-0、VS九州歯科大学13-1、決勝VS産業医科大学1-0。



優勝旗を手にするサイン

## 教職員ボウリング大会

7月24日、東洋スポーツパレス（早良区）にて教職員ボウリング大会が開催されました。記録的な集中豪雨の中、25チーム（50名）が熱戦を繰り広げました。各レーンからは大きな歓声が沸き上がり、優勝を目指し必死に頑張っている教職員らの姿が見られました。ゲーム終了後には表彰式が行われ、各チームに賞品が授与されました。優勝は、中島寛明・田頭美穂（補綴科）ペアでした。



各レーンのゲーム風景

## サンシャインシティの納涼祭

8月2日、介護老人保健施設サンシャインシティにおいて恒例の納涼祭が行われました。江戸っっぽれ芸やフラダンス、総踊りなどが披露されたほか、抽選会が催されました。また、バザーではかしわ飯やそうめん、たこ焼き、ぜんざい、かき氷、ヨーヨーつりなどがあり、多くの人で賑いました。利用者やご家族、ボランティアの方々、職員をはじめ参加者全員が楽しい一時を過ごすことができ、大盛況のうちに終わりました。



フラダンスに見入る入所者ら

## 福岡歯科大学父兄後援会 支部懇談会終了

平成21年度福岡歯科大学父兄後援会支部懇談会は、7月26日から8月23日の間、全国17会場で開催、全体で約69%の参加があり、無事に終了しました。

この支部懇談会では、各支部の総会終了後、大学の現況等について説明があり、また保護者の方からも大学への要望、ご意見などをいただくなど、有意義な大学・保護者間の意見交換の場となりました。

平成21年度父兄後援会支部懇談会出席状況

	福岡県東部	宮崎県	佐賀県	福岡県中央	中部・東海	関東・東日本	福岡県南部	鹿児島県	北九州	熊本県	
学生数	27	20	27	38	1	10	54	28	56	59	
出席数	20	14	22	31	1	5	40	22	41	43	
出席率	74.0%	70.0%	81.4%	81.5%	100.0%	50.0%	74.0%	78.5%	73.2%	72.8%	
	福岡市	長崎県	沖縄県	四国	近畿	大分県	山口県	広島県	山陰	岡山県	合計
87	45	12	17	25	34	33	23	7	5	608	
33	38	12	12	16	25	23	15	2	5	420	
37.9%	84.4%	100.0%	70.5%	64.0%	73.5%	69.6%	65.2%	28.5%	100.0%	69.0%	

## 短大保健福祉学科 施設実習報告会

7月10日、福岡医療短期大学305教室で保健福祉学科2学年の実習報告会が行われました。報告者は、それぞれの実習施設で担当した入所者の方が、自分達の作ったケアプランに沿って充実した生活を送ったことやその経緯を報告しました。

また、ケアを行う為には入所者の方と信頼関係を作ることが大切であり、入所者の日常的な観察、他職種との連携によるチームケアが重要となってくる等、実習で学んだことを発表しました。



報告発表する学生

## 保護者からのメッセージ FROM PARENTS



竹島 勇 = 文

### 臨床現場はすばらしい

第6期生として福歯大を卒業して今年で25年になります。学生時代は、空手道部に属し、部活・勉強を通して仲間たちと交流を深めました。卒業後大学院(小児歯科)を経て、地元沖縄で開業して21年目、少しずつ地域に認知されてきたように思います。歯科医師として、日々の仕事が患者さんに感謝されることに喜びを感じるとともに、もっと良い医療を提供したいと研鑽を続ける毎日です。

最近、卒後研修医の方々に会う機会がよくあるのですが、研修先をそこに決めた理由ははっきりせず、研修後のことは、ほとんどの方が決まっておらず、将来どういう方向で歯科医師としてやっていこうといったビジョンも見つけられずにいるようです。また大学の父兄会などに参加すると学生の学力向上のためのカリキュラム作りに苦慮している現状をお聞きます。こういう現状を打開するために、早い段階(大学2~3年次)からいろいろな歯科医療機関の院内の清掃・器具の消毒などから始まる学外実

習を大学のカリキュラムの中に取り入れられないかと思えます。どういう専門分野でやっていくのか、早い段階から実際の臨床現場を体験させることが、方向性を見いだすにもより効果的だと思います。実際に体験してみると、より現実的に自分の将来像が浮かんでくると思います。ひいてはそれが学生の目的意識を高め大学全体の学力向上にもつながるのではないかと思いますがいかがでしょうか。教育・研究・臨床に多忙な、大学の先生方だけではなく地域におられる同窓の先輩方や歯科医師会なども一体となって、歯科臨床のすばらしさを教えることが可能だと思います。

歯科医療は健康長寿のためにはなくてはならない分野であり、これからの高齢化社会においては、QOLを高めるためにますます重要な役割を担っています。息子たち、そして学生諸君、よく学びよく遊び目的意識をもって、はやくこのすばらしい歯科臨床の場に参加してください。



松本 考史 = 文

### 親父の本懐

次男坊が母校である福岡歯科大の2年生になりました。ほんの束の間の帰省時に大学生活を聞かせてくれますが、有意義な生活ぶりが見て取れて、福岡歯科大の恵まれた環境をつくづくありがたいと思うと同時に、なぜか自分自身が再び大学生活をたどり直せるような不思議な気分させられるのでした。大学で過ごしたあの膨大な時間とエネルギーの、せめて半分だけでも勉強に打ち込めばよかったと、つい思ってしまうのは間違いなく老化の証明でしょう。

まだまだ鼻っつたれで人生経験も教養もなく的確な判断力に欠けるのは当然ですが、モラトリアムを謳歌しつつ肝心な勉強が疎かにならないように注意深く見守って行きたいと思えます。

特に息子は「大学全入時代突入」と騒がれた

最初の学年に当たります。その一方で狭き門となった歯科医師国家試験の可否のゆくえがいつも以上に注目されるかもしれません。

~この学年はどんな結果を出せるのか?~

仲間と供に合格すべき重要な学年に在籍しているという事を、どうやら親子共々忘れずに過ごさなければなりません。

同窓生及び諸先輩方をはじめ、ラグビー部OBの先輩方には、いまだに様々な場面で助けていただく事が多く、繋がり濃さに伏して感謝せずにはいられません。息子には、颯爽としてまぶしい先輩達を見習うとともに、生き方もしっかり学んで欲しいと願っています。あの頃の私自身が先輩から多くの事を学んだように。

From The Alumni Association  
同窓会だより

## 福岡歯科大学同窓会創立30周年記念行事

## ご挨拶

会長 宮口 巖



宮口会長の挨拶

平成21年7月25日、福岡歯科大学同窓会創立30周年の記念式典を、多数のご来賓のご臨席と、全国から駆けつけた多数の同窓会員を含め500名余の参加を得まして開催できました事はこの上もない喜びでございます。お陰さまで記念講演会・式典・祝賀会共に滞りなく盛会の内に終えることが出来ましたことをこの場をお借りして心より厚くお礼申し上げます。またこの度の記念式典を開催するにあたり各地区同窓会より多くの協賛援助金のご支援をいただきました事に対して深く感謝しております。

同窓会創立30周年を記念して、田中理事長に記念品として小川幸男画伯によるタイトル「福岡歯科大学」の絵画を贈呈いたしましたところ、心から喜んでいただき会議室に飾って頂けることとなり大変感慨深いものとなりました。

顧みますれば、母校福岡歯科大学は、昭和48年に開校いたしまして、昭和54年に第一期生226名を世に送り出しました。本同窓会は、その年の5月に発足し現在では会員3,650名を擁する団体となり、全国8ブロック・28の各地区同窓会を擁するようになりました。

また、こうして30周年を迎えられたのも発足から今日まで本部支部の歴代役員諸氏の絶大なご尽力とご努力そして同窓の会員皆様方の限りないご協力とご支援の賜とっております。それ以上に発会から今日まで育て励まし、見守っていただきました全国歯科大学・同窓会校友会の諸先生方、歯科医師会の諸先生方、母校や恩師の諸先生方の数多くの心温まるご指導ご鞭撻のお陰であり、衷心から、深甚なる感謝を致しております。

この30年を一つの節目として、歴史の重みを、

あらためて胸に刻み、飛躍していく同窓会をいかにして会員相互の親睦を深める場とし、さらに母校の益々の発展に寄与し社会にも貢献出来るようなより充実した組織と成るよう、一致団結して同窓会活動を盛り上げていくことが肝要と思っています。今後とも私共同窓会は社会に対する責任と役割を果たしていく所存です。

最後になりますが、今後とも私共同窓会に対し格段のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



挨拶される田中理事長

## 「記念講演会—どげんかせんといかん—」



講演される東国原知事

福岡歯科大学同窓会創立30周年記念講演・記念式典・祝賀会の開催にあたり、吉田公典実行委員長の下、学術委員会は記念講演会と祝賀会のアトラクションを担当させていただきました。

前日の集中豪雨にもかかわらず増席の会場となり、「どげんかせんといかん」の演題で、宮崎県知事の東国原英夫氏をお招きし、開催いたしました。

知事は、「今回の記念講演に行けなくなるの思いから、国政への出馬を断念した。」と会場の笑いを誘い、宮崎県歯科医師会の独自の口腔ケアを通じた全身の健康増進「パルリボン」のバッジを紹介、ご自身の健康管理は走ることと3ヶ月に一度の口腔ケアの実践、イタリア旅行中の歯科治療の体験談、芸能界から政界へ転身されてからのエピソード、さらに今後の政治家としてのお考えに至るまで限られた短い時間の中でお話いただき、あっという間の記念講演でした。

約1年前より準備をしておりました武井俊哉専務、同窓会宮崎県支部の相澤隆・黒木康夫先生の細やかなご配慮とご尽力により、宮崎県知事による記念講演が実現いたしました。ただ開催3週間程前に、知事の国政に意欲的な報道が流れ、主催者といたしましては国政に出馬の折あるいは国会解散の時期により、直前で講師の選任変更とその準備をしなければならないかと、はらはらドキドキの数週間でしたが、お蔭をもちまして盛会に無事終了することができました。

また、祝賀会場へはピアノとヴァイオリンの演奏の中、清楚な雰囲気での入室となり、祝辞と鏡割りの後、アトラクションは来年ニューヨークのカーネギーホールにてコンサート予定でもある、地元福岡出身で現在も福岡を拠点に活動されている歌手の堤田とも子さんに、宴の花を添えていただきました。

末筆になりますが、開催にあたり関係各位のご協力に心より厚くお礼申し上げます。

学術常務理事 岩本 憲明



堤田とも子さんの熱唱





## 創立30周年記念行事を終えて

実行委員長 吉田 公典

なく執り行うことができました事は、これもひとえに皆様のご支援の賜と深く感謝申し上げます。実行委員会を代表いたしまして衷心よりお礼申し上げます。

又、当日は行き届かぬ点やご迷惑をお掛けしたことも多々あったかと存じますが、何卒ご容赦頂きますようお願い申し上げます。

30周年の節目を機に、これまで培った歴史と伝統を基盤に、同窓並びに同窓会は、その役割、責務、位置づけの重さをさらに自覚し、志を新たにし全員一丸のもと歯科医療を通して母校、並びに歯科界の発展のために努力邁進する所存であります。

今後共、皆様方のさらなるご指導ご鞭撻をお願い致すと共に、皆様方並びに全国会員各位のご健康ご多幸を祈念いたしましてお礼のご挨拶とさせていただきます。

福岡歯科大学同窓会創立30周年の記念講演会・記念式典・記念祝賀会が、平成21年7月25日午後4時から、グランド・ハイアット福岡「サボイ」と「グランドボールルーム」で華やかにして厳粛に執り行われました。

当日は、交通機関も麻痺するほどの福岡地方を襲った豪雨の中、大雨洪水警報が発令され開催が危惧されたにも拘わらず、福岡歯科学園理事長 田中健藏先生を始め、母校関係者、参議院議員 石井みどり先生、日本歯科医師会、日本歯科医師連盟、九州地区歯科医師連合会、全国歯科大学・歯学部同窓校友会、関連企業等々、関係諸団体を代表するご来賓の方々、並びに全国各地から参加の多数の同窓会員、学内外関係者500名余の出席を賜り誠にありがとうございました。

お陰様をもちまして記念行事も盛大に滞り

### 福岡歯科大学同窓会創立30周年



祝賀会における北村学長のご祝辞

### 福岡歯科大学同窓会創立30周年記念祝賀会



吉田実行委員長の謝辞



## 高嶺同窓会副会長、次期参議院比例代表選挙に出馬

日本歯科医師連盟は、8月21日(金)第106回臨時評議員会を午後2時から歯科医師会館(東京)にて開催し、高嶺明彦氏(沖縄県歯科医師会前会長・本同窓会副会長)を来年7月の次期参議院比例代表選挙に同連盟単一候補者として決定しました。

高嶺副会長は、昭和59年に本学を卒業。昭和60年3月、那覇市に「たかみね歯科クリニック」を開業。平成6年沖縄県歯科医師会理事に就き、平成9年から15年まで沖縄県歯専務理事を務め、平成18年4月沖

縄県歯会長に就任しました。また、平成18年4月から本年3月まで日本歯科医師連盟理事も務めていました。

一昨年、日本歯科医師会の職域代表として、既に、石井みどり氏(鶴見大学歯学部同窓会)が参議院比例代表選挙に当選されています。

診療報酬改定などに関して、国会議員の存在は我われの業権を確保する意味において、歯科界の大事な代表者と言えます。

専務理事 武井俊哉

## ミュージアムの町



この記事が、皆様の手元に届く頃は、もうすっかり涼しく、いや少し肌寒い頃かもしれません。しかしこの原稿を書いている時点では、茹だるような暑さが続いています。とは言え、今年の夏は、梅雨明けが記録的に遅く、特に、九州北部及び山口では多大な被害をもたらしました。同窓生の方々は大丈夫でしたか？

私はと言えば、平成3年に卒業後、地元である大阪に戻り、勤務医を経て、現在は、大阪府池田市で開業し、12年経ちました。

池田市は、大阪府北部の兵庫県との県境に位置し、五月山と猪名川に囲まれた人口10万人ほどの、のどかな町です。また、大阪空港から車で5分、大阪の中心部梅田から電車で20分と意外に交通の便が良い場所です。

池田市と言えば、ダイハツ工業が有名ですが、その記念館『ヒューモビリティワールド』や、チキンラーメンを発明した安藤百福氏の記念館『インスタントラーメン発明記念館』、一昨年には、上方落語協会会長の桂三枝師匠が池田市民と言うことで『落語みゅーじあむ』が開館し、他にも、美術館や資料館など、『ミュージアムの町いけだ』として、観光PRに励んでいます。

さて、池田市を簡単に紹介しましたが、歯に関する意識が高い町でもあるのです。歯科医師会と行政が力を合わせ、小学校就学前の子供を対象にした虫歯予防教室（フッ素塗布、ブラッシング指導、食事指導など）を大阪ではいち早く取り入れ、12歳以下のウ蝕罹患率（DMF）が大阪府下で、ここ数年連続で1位を記録しています。

この様な町で、地域医療に携わり、微力ながら地域の活性化に貢献出来ていれば幸いです。

最後に、卒後、関西方面で勤務、あるいは開業される同窓生が年々減ってきて、同窓会大阪支部としては非常に寂しい限りです。

福岡と大阪、距離的にも離れていますが、これからも皆様の御指導、御協力の程、宜しくお願いします。

医療法人 昭成会 加藤歯科（大阪府池田市）  
 加藤 秀治（13期）=文

写真上=院内風景  
 写真下=筆者とスタッフ



## 開業して12年目を迎えて思うこと



同窓生のみなさんこんにちは。熊本県荒尾市で開業しています12期生の深浦武志と申します。平成10年10月に現在の所に「ふかうら歯科医院」を新規開業し無事12年を迎えることとなりますが、開業当初はスタッフの人数も少なくバタバタした保険中心の診療をおこなってきました。最近、スタッフにも恵まれ大所帯になりました。また、ネットを見て来院されるなど患者さんの層も年々変化し、自費診療も伸びてきています。卒後1年目で1期生の先生の医院で大変お世話になり、①患者を思う心、②技術力と診断力の大切さは今も心に留めていますが、つい忙しくなると初心を忘れてしまいそうになる時があります。開業して12年ともなると井の中の蛙になりがちで、そんなときに、Y先生の「知的好奇心は一生忘れるな!」と言う言葉とK先生の「治療のゴール（診断）をいつも考えなさい!」と言う言葉を思い出すようにしています。

近年参加している研修会で受講生から「福歯大の先生は勉強熱心な先生が多いですね。」と言われるのは気分がいいです。事実、雑誌の投稿や講演をされている先生は福歯大卒が多い様に感じます。また、歯科医師会でも福歯大卒の先生方ががんばっていらっしゃいます。これからは福歯大の中堅として諸先輩を見習って何らかの形で貢献できたいと思っています。

プライベートでは歯科衛生士の妻と2人の娘がいます。今では妻は広報的な役目として一緒に働いています。2人の娘は自分が少しでも仕事で疲れた顔をする、「歯医者はずっといからならん」といっています。（笑）どちらにしても、自分は日々研鑽を積んで患者さんに喜ばれるような歯科医師であり続けたいと思っています。

最後に、最近の福岡歯科学園の国家試験の合格率の高さ、内部の教育や施設の充実ぶりには大変目を見張るものがあります。この場をお借りして、お世話になりました諸先生方に感謝申し上げます。重ねて、福岡歯科大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。

ふかうら歯科医院  
 深浦 武志（12期）=文

写真上=医院外観  
 写真下=筆者とスタッフ



# 奨学制度(大学・大学院・短大)

(平成21年10月現在の支給または貸与条件等です。)

## 福岡歯科大学

入学後の経済的な支援を行うため、さまざまな奨学制度を設けています。主な奨学制度は下記のとおりです。

### 歯学部

#### 1. 特待生制度

(1) 学業成績(新入学生にあっては入学前期、その他の学生にあっては前年度のそれをいう。)が特に優秀であること。

【平均点が90点以上の者、平均点90点以上の者がいない場合は各学年最上位の者(但し平均点80点以上の者)】

(2) 品行方正であること。

(3) 健康であること。

特待生には、その年度の学生納付金の一部(190万円・前期95万円/後期95万円)を免除します。

#### 2. 福岡歯科大学AO入学試験学術奨励金(※AO入試独自の奨学制度)

AO入試合格者のうち、入学試験成績上位3名の者に対して、入学初年度から卒業までの6年間支給します。

2年次以降は、当該年度学年成績の平均点が80%以上で成績順位が当該学年在籍中の中で20位以内であることを継続条件とします。支給額は120万円。返還の必要はありません。

#### 3. 奨学金

名称	種別	貸与額月額	返還の有無
福岡歯科大学 学生共済会奨学金	特別奨学金	毎年度 学生納付金の範囲内	有
	一般奨学金	月額 甲種 50,000円 乙種 100,000円	有
	就学共済金	授業料の半額	無
日本学生支援機構 奨学金	第一種(無利子)	月額 30,000円～ 64,000円	有
	第二種(有利子)	月額 30,000円～ 160,000円	有
	入学時特別増額貸与 (有利子)	入学月又は機構が定める月の貸与月額 に定額10万円、20万円、30万円、40万円、 50万円の増額貸与を選択できる。	有

#### 4. その他の奨学金

自衛隊貸費学生制度、森田奨学育英会、地方公共団体(各都道府県など)による奨学生募集に応募できます。

### 大学院

日本学生支援機構の奨学制度以外に本学独自の奨学制度があります。

名称	種別	内容	返還の有無
福岡歯科大学 大学院奨学制度		学業成績が優秀で、品行方正かつ健康であると認められる大学院生に対して選考の上、奨学金もしくは特別奨学金を給付する。 ※奨学金と特別奨学金の併給はしない。	
	奨学金	授業料相当額(70万円)を支給し、その学生の学生納付金に充当。	無
	特別奨学金	月額16万円(理事長決定額)を修学に係る資金として本人に支給	無
福岡歯科大学 学生共済会奨学金 貸与制度	甲種奨学金	月額 50,000円	有
	乙種奨学金	月額 100,000円	有

※上記の他、大学院ティーチングアシスタント制度(年間27万円を支給)及び大学院リサーチアシスタント制度(年間27万円を限度に支給)があります。

※詳細については、学務課入試係へお問い合わせください。  
TEL:092-801-1885(直通)

## 福岡医療短期大学

### 歯科衛生学科

入学した学生の経済的な支援を行うため、福岡歯科大学より支給される福岡医療短期大学特別奨学金制度を設けています。

その他、多くの学生は日本学生支援機構の奨学金を受け、また、自身体独自の奨学金の給付を受けている学生もいます。

#### 1. 福岡医療短期大学特別奨学生

(1) 学業成績(1学年にあっては前期試験の、2学年または3学年にあっては前年度の学業成績をいう)が特に優秀であること。

(2) 品行方正であること。

(3) 健康であること。

特別奨学生には、その年度の学生納付金の一部(年間授業料の5割を上限)を免除します。

#### 2. 奨学金(各種助成団体や地方公共団体等による奨学生募集に応募できます。)

名称	種別	貸与額月額	返還の有無
日本学生支援機構 奨学金	第一種(無利子)	月額 自宅通学 :30,000円、 53,000円から選択 自宅外通学:30,000円、 60,000円から選択	有
	第二種(有利子)	月額 3万円、5万円、8万円、 10万円、12万円から選択	有
	入学時特別増額 貸与(有利子)	入学月又は機構が定める月の 貸与月額に定額10万円、 20万円、30万円、40万円、 50万円の増額貸与を選択 できる	有
山口県ひつくり財団奨学生		月額 51,000円	有

※詳細については、歯科衛生学科入試係へお問い合わせください。  
TEL:092-801-0439

### 保健福祉学科

高校を卒業したばかりの学生だけでなく、短期大学や大学を卒業して入学される学生や一旦就職され社会で活躍されて入学された方々にも経済的な面から支援するための奨学金制度を設けています。

#### 1. 福岡医療短期大学特別奨学生

(1) 学業成績(1学年にあっては前期試験の、2学年にあっては前年度の学業成績をいう)が特に優秀であること。

(2) 品行方正であること。

(3) 健康であること。

特別奨学生には、その年度の学生納付金の一部(年間授業料の5割を上限)を免除します。

#### 2. 奨学金(各種助成団体や地方公共団体等による奨学生募集に応募できます。)

名称	種別	貸与額月額	返還の有無
福岡県介護福祉士等 奨学資金貸与制度	修学資金 (無利子)	月額50,000円 入学準備金200,000円 就職準備金200,000円	所定の条件で返済免除
九配記念育英奨学金		月額20,000円	無
ニヤクコーポレーション 介護福祉士奨学基金 ※2年生対象		年額500,000円	福祉施設での勤務を 条件に返済免除
日本学生支援機構 奨学金	第一種 (無利子)	月額 自宅通学 :30,000円53,000円から選択 自宅外通学:30,000円60,000円から選択	有
	第二種 (有利子)	月額 3万円、5万円、8万円、 10万円、12万円から選択	有
	入学時特別増額貸与 (有利子)	入学月又は機構が定める月の貸与月額 に定額10万円、20万円、30万円、40万円、 50万円の増額貸与を選択できる。	有

※詳細については、保健福祉学科入試係へお問い合わせください。  
TEL:092-801-0923

# 【平成22年度入学試験】

## 福岡歯科大学

歯学部					大学院 歯学研究科
区分	推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	二次募集
募集人員	約20名	約40名	約6名	約5名	18名
出願受付期間	H21.10.26(月)～11.6(金)	H22.1.4(月)～1.28(木)	H22.1.18(月)～2.12(金)	H22.2.8(月)～3.11(木)	H22.1.25(月)～2.12(金)
試験日	11月8日(日)	2月2日(火)	2月14日(日)	3月13日(土)	2月18日(木)
合格発表日	11月12日(木)	2月4日(木)	2月17日(水)	3月15日(月)	3月4日(木)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col">http://www.fdcnet.ac.jp/col</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/colhp">http://www.fdcnet.ac.jp/colhp</a> E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp				

## 福岡医療短期大学

歯科衛生学科						
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(公募)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	約10名	約10名	約15名	約5名	若干名	約40名
出願受付期間	H21.11.2(月)～11.12(木)	H21.11.2(月)～11.12(木)	H22.1.5(火)～1.28(木)	H22.2.2(火)～2.17(水)	H22.3.1(月)～3.10(木)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月14日(土)	11月14日(土)	2月1日(月)	2月19日(金)	3月12日(金)	
合格発表日	11月20日(金)	11月20日(金)	2月5日(金)	2月26日(金)	3月16日(火)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a> E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp					

保健福祉学科								
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	約15名
出願受付期間	H21.11.2(月)～11.12(木)	H21.11.2(月)～11.12(木)	H21.12.1(火)～12.10(木)	H22.1.5(火)～1.28(木)	H22.2.2(火)～2.17(水)	H22.3.1(月)～3.10(木)	H22.3.16(火)～3.23(火)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月14日(土)	11月14日(土)	12月12日(土)	2月1日(月)	2月19日(金)	3月12日(金)	3月24日(木)	
合格発表日	11月20日(金)	11月20日(金)	12月17日(木)	2月5日(金)	2月26日(金)	3月16日(火)	3月26日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a> E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp							

※保健福祉学科は、平成21年度入試から入学定員(募集人員)を変更しました。

# オープンキャンパス

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学において「オープンキャンパス」が開催されました。

### 福岡歯科大学

大学では、7月25日と8月29日の2日間に分けてオープンキャンパスを開催しました。当日は、施設見学の他、模擬授業『審美歯科治療で、美しい口元を』や模擬実習『抜歯をしてみよう』『ヒト細胞からのDNAの抽出』などが行われました。

模擬実習の様子が参加者の声(アンケートより)などをホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



情報処理実習室見学



模擬実習

### 福岡医療短期大学

短大では学園内施設見学のほか、歯磨き体験、車椅子体験などが実施され、在学生から受験生へ受験メッセージの発表も行われました。



歯科衛生学科:歯磨き体験



保健福祉学科:介護施設見学

10月以降も「オープンキャンパス」を下記の日程で行います。お問い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

(問合せは各入試係まで)

10月期	平成21年10月24日(土)
12月期	〃 12月 5日(土)
1月期	平成22年 1月 9日(土)
2月期	〃 2月12日(金)
3月期	〃 3月 5日(金)

※各オープンキャンパスでAO入試説明会も行います。(当日、エントリーカードをお渡しします。)